

【記入例】

令和 3 年 1 月 12 日

鶴岡市長 様

〒 997-8601
住所 鶴岡市馬場町9番25号
(方書) ツルオカハイム101号室
連絡先 0235-25-2111
氏名(名称) 株式会社鶴岡市役所
業種名 製造業
代表者氏名 鶴岡 太郎

法人：代表者印
個人：認印

印

新型コロナウイルス感染症等に係る中小事業者等の事業用家屋及び償却資産 に対する固定資産税及び都市計画税の課税標準の特例措置に関する申告

地方税法
下記のと
※令和2

会計帳簿等を確認し、2020年と2019年の事業収入・及び比較する期間を記入します。
・事業収入は、行っている全ての事業に係る収入（合計額）を記入します。
・比較する期間は同じ月で、2月から10月までのうち連続する3か月です。

1 事業収入割合について

| 2020年 4 月 1 日 から同年 6 月 30 日 2020年2月から10月までの連続する3月を記載 | | | 2019年 4 月 1 日 から同年 6 月 30 日 左の期間の前年同期を記載 | | |
|---|---------|-------|---|---------|------|
| 4 月期 | 5 月期 | 6 月期 | 4 月期 | 5 月期 | 6 月期 |
| 合計 | 340,000 | 円 (①) | 合計 | 520,000 | |
| 前年比事業収入割合： 65 % | | | (①/②)※小数点以下 | | |

パソコンで入力する
場合、前年比事業
収入割合は①と
②から自動で算出
されます。

※以下のどちらか該当する□に✓を記入してください。

- 50%以下 (地方税法附則第63条第1項第1号に該当)
(=事業収入が前年同期比で50%以上減少している場合 軽減率:全額)
- 50%超70%以下 (地方税法附則第63条第1項第2号に該当)
前年同期比で30%以上減少している場合 軽減率:全額

申告する資産に○

鶴岡市より毎年5月に送付している納税通知書の表紙右上に記載されている、5から始まる10桁の番号を記入します。

2 特例対象資産について

| 申告する資産 | 対象資産 | 通知書番号 |
|--------|---------------------------|-------|
| | 事業用家屋(別紙 特例対象資産一覧のとおり) | |
| | 償却資産(令和3年度償却資産種類別明細書のとおり) | |

※1 申告する資産に該当する「申告の有無」欄に○を記入してください

※2 償却資産については、毎年行われる申告をもって特例対象資産一覧を提出したこと
となります。
(この申告書のほか、令和3年度の償却資産申告書の提出が必要です。)

【記入例】

3 誓約事項について

以下の(1)から(4)について、事実と相違ないことを誓約します。

- (1)「1 事業収入割合について」に記載した事業収入割合の減少は、新型コロナウイルス感染症及びそのまん延防止のための措置の影響によるものであること。
- (2)申告者は、風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律(昭和23年法律第122号)第2条第5項に規定する「性風俗関連特殊営業」を営んでいないこと。
- (3)(申告者が資本若しくは出資を有する法人である場合、)申告者は、資本金の額若しくは出資金の額が1億円以下であり、かつ、次に掲げる事由のいずれにも該当しないこと。
- ①その発行済株式又は出資(その有する自己の株式又は出資を除く。②において)の2分の1以上が同一の大規模法人(※)の所有に属している法人
- ②その発行済株式又は出資の総数又は総額の3分の2以上が大規模法人の所有に属している法人
- ※「大規模法人」とは租税特別措置法施行令第27条の4第12項に規定する大規模法人のことをいう。
- (4)(申告者が資本若しくは出資を有する中小事業者である場合、)申告者

枠内は認定経営革新等支援機関等が記入します。
※申告者は記入しないでください。

【認定経営革新等支援機関等確認欄】

上記1～3の申告内容について、記載どおりである旨確認しました。

| | |
|-------|-----------|
| 住所 | _____ |
| 名称 | _____ |
| 代表者役職 | _____ |
| 代表者氏名 | _____ (印) |

認定経営革新等支援機関等担当者名 _____

認定経営革新等支援機関等電話番号 _____

認定経営革新等支援機関等担当者メールアドレス _____

(備考)

- 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。
- 本申告において、申告すべき事項について虚偽の申告をした者は、地方税法附則第63条第4項又は第5項の規定に基づき1年以下の懲役又は50万円以下の罰金に処される場合があることに留意すること。
- 「連絡先」については、日中連絡がとれる電話番号等を記載すること。
- 「氏名(名称)」については、個人事業主にあつてはその氏名を、法人にあつてはその名称を記載すること。
- 「業種名」については、日本標準産業分類における中分類で記載すること。
- 本特例の申告にあつては、事前に認定経営革新等支援機関等の確認を受けること。
- 本特例の申告は令和3年2月1日までに各市町村に対して行うこと。

※鶴岡市処理欄

| 宛名番号 | 添付資料 | 記載内容 | 受付者印 |
|------|------|------|------|
| | | | |